



THE SHINKANSEN MAIL NEWS



JR東日本輸送サービス労働組合
新幹線地方本部



2024,09,27 No. 010



2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ

9/26 新幹線統括本部へ提出!

申し入れ項目 新幹線の輸送品質の向上、現場で働く社員の労働条件、労働環境の充実を図るために

【共通】

- 2024年3月6日に発生したつばさ121号が停止位置を大幅に行き過ぎて停車した事象について原因を明らかにすること。また、原因究明されるまで新幹線区間において、L編成単独運転を設定せずU又はJ編成との併結運転とすること。
- 東京駅ホーム下に乗務員乗り継ぎ詰所を設置すること。

【運転士関係】

- 上一運庫線付属編成のみの入出区時における手歯止め装着・撤去時の移動距離を低減させるため、11号車付近にある洗浄台を手歯止め装着・撤去時に使用できるようにすること。
- 新幹線が高速で通過できる線路のある駅については、自動防止手配・解除を指定した行路を設定しないこと。
- 小山運庫線入出区時の併合編成の運転時分を見直すこと。
- 小山運着発線の停止位置について、視認性を向上させること。
- 東京駅において、併合編成の駅留置車両出区時の労働時間を十分に確保すること。

【東京新幹線運輸区・車掌】

- 1281行路については、出勤時間を8:30以降とし前泊を前提とした行路の設定を解消して在宅休養時間を確保すること。
- 技術力の維持向上ならびに安全・安定輸送確保のために、下記の内容について行路設定を行うこと。
 - 東京～福島間のつばさの担当の設定
 - いわて沼宮内駅に停車する上り列車の担当の設定
 - 仙台～盛岡間の各駅停車タイプ列車における付属編成の下り列車の担当の設定

【東京新幹線運輸区・共通】

- 効率的な運用とするために運転士・車掌の定期行路数を増加させること。
- 食事を目的とした乗務の中断の拡大を行い、運転士は最低60分、車掌は最低80分を確保すること。特に、運転士については113行路および120行路、車掌については1108行路および1201行路において食事を目的とした乗務の中断の拡大を行うこと。
- 乗務員の生活設計のために行路分割を行った行路については、勤務発表後に変更を行わないこと。

【東京新幹線運輸区・運転士】

- 技術力の維持向上の目的から仙台～盛岡間の乗務を4往復設定すること。
- ガーラ湯沢駅の設備について、12両編成が滞泊できるように屋根を設置すること。
- 601行路については8時30分以降の出勤時間とし、在宅休養時間を確保して前泊を前提とした行路の設定を解消すること。
- 119行路について、労働時間Aを14時間以内とすること。
- 212行路について、新幹線便乗の観点から最後の便電を664Bとすること。

【東京新幹線車両センター】

- 679B～696Bの仕業検査について、作業時間が僅少のため十分な間合いを確保すること。